

# 校長通信(第3号)

令和7年7月18日  
東京都立田無高等学校  
校長 長嶋 浩一

## 1 令和7年度 一学期終業式 校長講話

### — 不撓不屈の実践と一人一人の挑戦 —

今日で1学期が終了します。新年度のスタートからこの数か月、皆さん一人一人が、学びに、行事に、部活動に、そして日々の生活に真剣に取り組んでくれたことを、私は心から誇りに思っています。

「撓(た)えず、屈せず」。困難や失敗に直面しても、あきらめることなく立ち向かい、やり抜こうとする強い意志。それが「不撓不屈」です。今年の体育祭のスローガンにも掲げられていましたね。私は、皆さんに簡単に自分の限界を決めず、本校の学校生活の中で果敢に物事にチャレンジしてもらいたいと思っています。そして、素直に成功を喜び、失敗を糧として次へのステップにしてほしい。そして、お互いが切磋琢磨し、支え合うことのできる人になってもらいたいと強く思っています。その中で「不撓不屈」はキーワードと言えるでしょう。

この言葉を、私は改めてこの1学期の皆さんの姿と重ねています。たとえば、柔道部女子団体は激戦の都大会を勝ち抜き、見事、関東大会出場を果たしました。また、関東大会でも初戦を突破しました。強豪校と肩を並べて戦うまでに至ったその裏には、毎日の厳しい練習、悔しさを乗り越えた努力の積み重ねがあったことでしょう。

また、男子テニス部は1・2年の都立大会で優勝という快挙を達成しました。相手のプレッシャーや強風、暑さなど、簡単ではない状況の中で、仲間と支え合いながら粘り強く戦い抜いた結果だと思えます。20日からは、3年生を含めた都立大会が本校で開催されます。健闘を祈念します。頑張ってください。

さらに、野球部は四年ぶりに夏の大会で四回戦に進出しました。ここまで勝ち進んだのは、技術や体力だけではないでしょう。

○活動方針 『氣は技を制す』 気づき・考え・行動する

☆心・技・体 大切なのは「心」

意識 一生懸命さ 克己心 誠実さ 謙虚さ 諦めない心

☆「感じる力」「気づく心」を養う

野球だけでなく、卒業してからも生きる力

誰かのために動ける人間 思いやりのある人間

部活動を通して人間的にも成長してほしい

## ☆田無高校野球部員としての「誇り」「自覚」「品格」

甲子園は呼ばれていくところ 学校で一番の部活に  
学校生活、私生活が野球のプレーにつながる  
文武両道（勉強を怠れば野球はできない）

田無高校野球部は、ただ野球が上手な生徒を育てることを目指していません。高校野球を通じて心を育み、心を通わせ、一人の人間としても成長の三年間となることを目指しています。そのために、練習以外に「挨拶」「礼儀」「奉仕活動」などの指導に力を入れています。もちろん野球も本気です。

このような姿勢で日々努力した積み重ねが、成果となって表れてきたのだと思います。明日、何度も甲子園に出場し、優勝経験もある強豪校の日大三高と対戦します。

ある書籍で読んだことがあるのですが、「日大三高は、練習試合の相手を必ずしも強さだけで決めているわけではないそうです。チームとして人間力を重視しており、「あのチームと対戦してみたいな」と思った学校が選ばれるのです。技術以外にも学ぶことがたくさんある。そう考えているのでしょう。今回は公式戦ですが、本校野球部はその資格を十分にもっていると言えるでしょう。相手も同じ高校生です。どこかに必ず勝利の糸口があるのではないかと考えています。健闘を祈念し、明日、私も応援に行きたいと思います。

もちろん、これらの目覚ましい成果は、ほんの一部にすぎません。成績を上げようと毎日必死に机に向かった人も、苦手な人と少しずつ関係を築こうとした人も、朝の眠気と闘いながら、遅刻せずに登校を続けた人も——それぞれの場面で、皆さんは自分なりの「不撓不屈の実践」を積み重ねてきたのです。

失敗や後悔のある人もいるかもしれませんが、でも、それでいいのです。挑戦した人だけが、失敗を経験できます。そして失敗は、次の挑戦を支える最も確かな材料です。

明日から夏休みに入ります。夏期講習、受験勉強、英検の受験、部活動、宿泊行事、文化祭の準備等、それぞれの方がテーマをもった過ごし方をすることと思います。そのような中でも、少し立ち止まり、自分が頑張ったこと、足りなかったことを振り返りながら、心と体をしっかり整える時間も確保してください。そして、自分自身が「次に挑戦すべきこと」は何かを考える、そんな夏にしてほしいと思います。

不撓不屈の実践は、特別な人だけのものではありません。一人ひとりが、自分の場所で、自分の歩幅で前に進む。それこそが本当の「強さ」なのだと思います。

それでは、事故や怪我のないように、体調には十分気をつけて、有意義で、安全な夏休みを過ごしてください。二学期に、また皆さんの元気な姿をみることを楽しみにしています。

## 2 第1学年保護者会を開催しました。

令和7年6月27日(金)、第1回保護者会を開催しました。全体会では、学年の教員からは、入学以来3か月の生徒の様子や、学校のシステム等の説明がありました。それに先がけ、校長からは、東京都独自の科目「人間と社会」についてお話しさせていただきました。概要は以下のとおりです。

本日は、本校の保護者会にご参加いただき、誠にありがとうございます。1年生は、入学からおよそ3か月が経ちました。今月上旬には初めての学校行事である体育大会が盛大に行われました。お子様たちは緊張が少しずつほぐれ、笑顔も見られるようになってきました。とはいえ、新しい友人関係や学習環境の中で、日々小さな挑戦を繰り返している時期でもあります。

私からは、1年生が学んでいる「人間と社会」について、少々お話ししたいと思います。私たちが今、この時期にこそ大切にしたい教育の一つとして、「人間と社会」という東京都独自の科目があります。入学式でも都教育委員会の式辞の中で言及されていました。この「人間と社会」という科目においては、教科書をただ覚えるという学びはいたしません。生徒一人一人が「自分は どういう人間なのか」「これからどのように社会と関わっていくのか」といった根源的なことを、自ら問い、考え、仲間と語り合う、探究的な授業です。テーマは多岐にわたります。たとえば、「理想の高校生活とは」「自分の興味関心をどう深めていくか」「社会の中で今、注目すべき課題は何か」といった問いに対して、生徒たちは少人数で議論したり、自分の意見を発表したりする中で、考えを深めていきます。

このような学びは、すぐに答えが出るものではありませんが、自分自身を見つめ直し、他者と対話する力、そして将来の進路や生き方を主体的に考える姿勢を育てる、大切な土台となります。これから進んでいく高校3年間の中で、「何を学び、どのように生きていきたいのか」という問いをもつこと。それこそが、高校教育の最も重要な役割の一つだと考えております。

私たち教職員一同は、生徒一人一人が自分の興味や関心を見つけ、自信をもって歩いていけるよう、丁寧に支えてまいります。ご家庭でも、ぜひお子様との日々の会話の中で、「どんなことを学んでいるの?」「今、気になっている社会の話題はある?」などと声をかけていただければ幸いです。

本日はこれから、各担当よりお子様たちの様子や学校のシステム等について報告させていただきます、その後クラス懇談会を行います。

本校では、今後とも学校とご家庭とで力を合わせながら、お子様の成長を共に見守ってまいります。御協力の程よろしくお願い申し上げます。